

# 徹底検証

## 中央小学校体育館を残すのみ

今定例会は、平成19年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計のほか特別会計、水道事業会計などを慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入は、定率減税の廃止、税源移譲などで、個人分が23.5%増加し、法人分は6.7%減少しました。

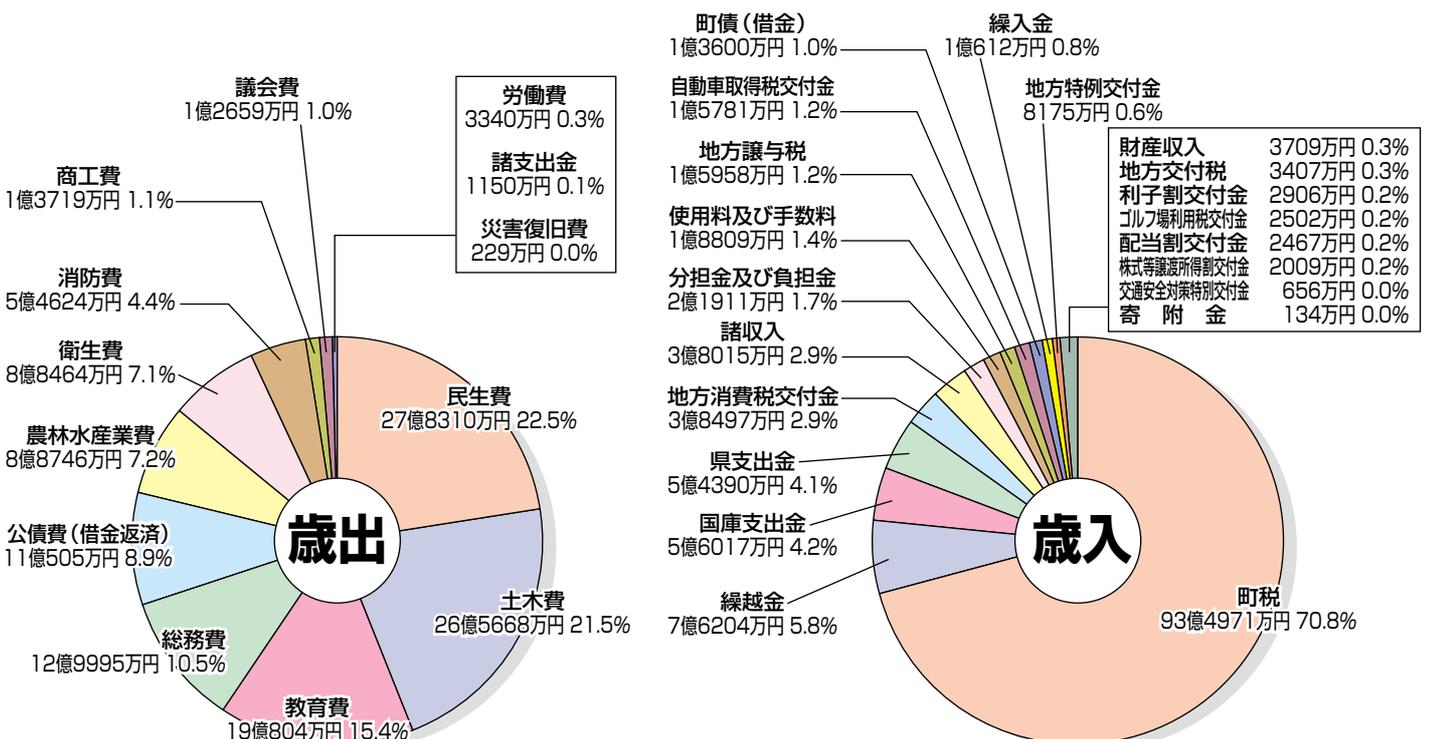
町税全体では、93億4971万円となり、4億4341万円（5.0%）の増加になりました。

歳出では、農村振興総合整備事業、幸田中央公園整備事業、幸田中・中央小・深溝小耐震補強、幸田小・深溝小大規模改造など各種の事業が計画どおり実施されました。

なお、幸田町の平成19年度の決算歳出総額は、一般会計と特別・企業会計を合わせて、209億2188万円となり、歳入で1.7%、歳出で1.7%それぞれ減少しました。

### 一般会計決算額

**歳出 123億8213万円** **歳入 132億 730万円**



平成  
19年度

# 決算209億円



中央小学校体育館

## 学校の耐震補強

### 主な質疑

- Q** JR新駅の設計書成果品がなぜ公表されないか  
**A** まだJRとの合意が得られていないため成果品は出せない。
- Q** 新駅建設は住民合意を得るべきだ。  
**A** 学区懇談会で大方の金額も示してきた。
- Q** 坂崎調整地など交付金対応されていない。  
**A** 調査して対応する。
- Q** 災害見舞金の床上1万円は安い。引き上げを。  
**A** 少なくとも4〜5万円程度に上げるべきか検討。

**Q** 給食費の滞納が多くなっている。就学援助制度などで対応できないか。

**A** 監査からも指摘があり今年度はじめて不納欠損処分\*した。家庭の収入基準は不足していないため制度では対応できない。

**Q** 食材費の値上げで学校給食が赤字だが、一般会計から繰り入れ、保護者に転嫁しないように。

**A** 食の安全・健康など学校給食の役割、子どもの楽しみもあり今年度は値上げしない。来年度は状況をみて検討したい。

**Q** 保育士の正規雇用をすべきだ。嘱託の保育士がクラス担任をもっている現状だ。

**A** 職員定数削減をしているためやむを得ない。保育士資格者なので問題はない。待遇は改善する。

※不納欠損処分とは  
 歳入徴収額を今後も徴収の見込みがたないため徴収を諦めること

### 特別会計などの決算状況

会計名		歳入	歳出	差引
特別会計	土地取得	4億8822万円	4億6749万円	2073万円
	国民健康保険	27億3055万円	26億7732万円	5323万円
	老人保健	19億181万円	18億9718万円	463万円
	介護保険	11億4216万円	11億1770万円	2446万円
	駅前土地区画整理	2億6731万円	2億6217万円	514万円
	農業集落排水事業	3億5041万円	3億4257万円	784万円
	下水道事業	9億740万円	8億9738万円	1002万円
企業会計	水道事業	収益的収支 6億7086万円	6億1106万円	5980万円
	業会計	資本的収支 1億6766万円	2億6688万円	△9922万円

### 建設事業の主なもの

- 幸田中央公園整備事業 4679万円
- 大日蔭運動場借地解消 1億7088万円
- 道路新設改良 2億1822万円
- 野場横落線、荻谷荻1号線ほか
- 相見・野場区画整理組合補助事業 2億270万円
- 両地区への補助金
- 小耐震補強 8461万円
- 幸田小・深溝小大規模改造 9461万円
- 農村振興総合整備事業 2億5941万円
- 深溝運動場などの整備
- 幸田中・中央小・深溝